

鬼に金棒！丸暗記術

螢雪ゼミナール瑞穂校 橋本承太郎

【理科・指示薬の色】

本日は色が変わることによって、水溶液の酸性、中性、アルカリ性を調べることができる指示薬などについて、覚え方を伝授していきます。理科で登場する指示薬は、3年間を通して暗記しなければいけません。では、鬼暗記術を紹介していきます。

リトマス紙 リトマスゴケからとった色素をろ紙にしみこませた指示薬です。酸性は青色リトマス紙が赤色に変化します。アルカリ性は赤色リトマス紙が青色に変化します。中性はどちらのリトマス紙も変化しません。ここで覚えるのはアルカリ性です！ 横断歩道を渡る時、信号機をチェックしますよね。「信号は、赤から青で、歩ける性」。5・7・5のリズムで赤色から青色に変わったらアルカリ性と覚えましょう。そして、交通ルールはしっかりと守りましょう（ちなみに私の弟はケイサツです。私はケイセツです！）。

B T B 溶液 (B) ブロモ (T) チモール (B) ブルーの略です。大人になるまで知りませんでした。さて、B T B 溶液は、酸性は黄色、中性は緑色、アルカリ性は青色という示し方をします。ここで大切なのは先ほど覚えやすかったリトマス紙と同時に覚えることです。リトマス紙もアルカリ性は青色に変化しました。※ B T B 溶液も同じです。そして、酸性が黄色を示したときは、「サン（酸）ヰ（黄）ユー!!!」と叫ぶのです（私は中学1年生のときに B T B



担当教科 数学・理科
好きな言葉は「鬼勉」。学生時代、テスト勉強中によく唱えていた言葉です！

O液だと思っていました。反省）。

フェノールフタレン溶液 酸性は無色、中性は無色、アルカリ性のみ赤色に変化します。この指示薬は「フェノールフタレン」とアルカリのカタカナの人同士で反応しているんですね。照れて顔が赤くなっているのです。キュンです。酸性、中性の漢字の人には無表情ですね。シュンです。

ムラサキキャベツ液 ムラサキキャベツの葉を水と煮て、ろ過してつくった指示薬です。強酸性は赤、弱酸性はピンク、中性は紫、弱アルカリ性は緑、強アルカリ性は黄に変色します。強酸性から順に色を覚えていくと、「赤ちゃんピンチで群がるミッキー」です。ミッキーは1匹しかいないはずですが、赤ちゃんのピンチなので仕方ないです。

pH試験紙 酸性・アルカリ性の強さを数値で表す試験紙です。数値は0から14まであり、7が中性です。7より小さくなるにしたがって酸性が強くなり、7より大きくなるにしたがってアルカリ性が強くなります。「3（酸）は7より小さい」と超当たり前の語呂合わせで暗記ですよ。

一生忘れられない語呂合わせってありますよね。何故か今でも「信号は、赤から青で、歩ける性」と習った授業を先生の顔や理科室の風景まで鮮明に覚えています。そのときからリトマス紙問題は無敗です。この記事からそんな記憶に残る語呂合わせがあると嬉しいです。

遊びを樂しく！。地域版で連載している「岐阜新聞真学塾」をパワーアップさせたコーナーです。